《突然のコストアップでお困りの企業様向け》

UiPath運用管理ソリューション
～コスト削減 虎の巻～

株式会社サン・プラニング・システムズ

2105B

© Sun Planning Systems Co.,Ltd. All rights reserved.

ライセンス費用アップの理由と
コスト削減のポイントとは？

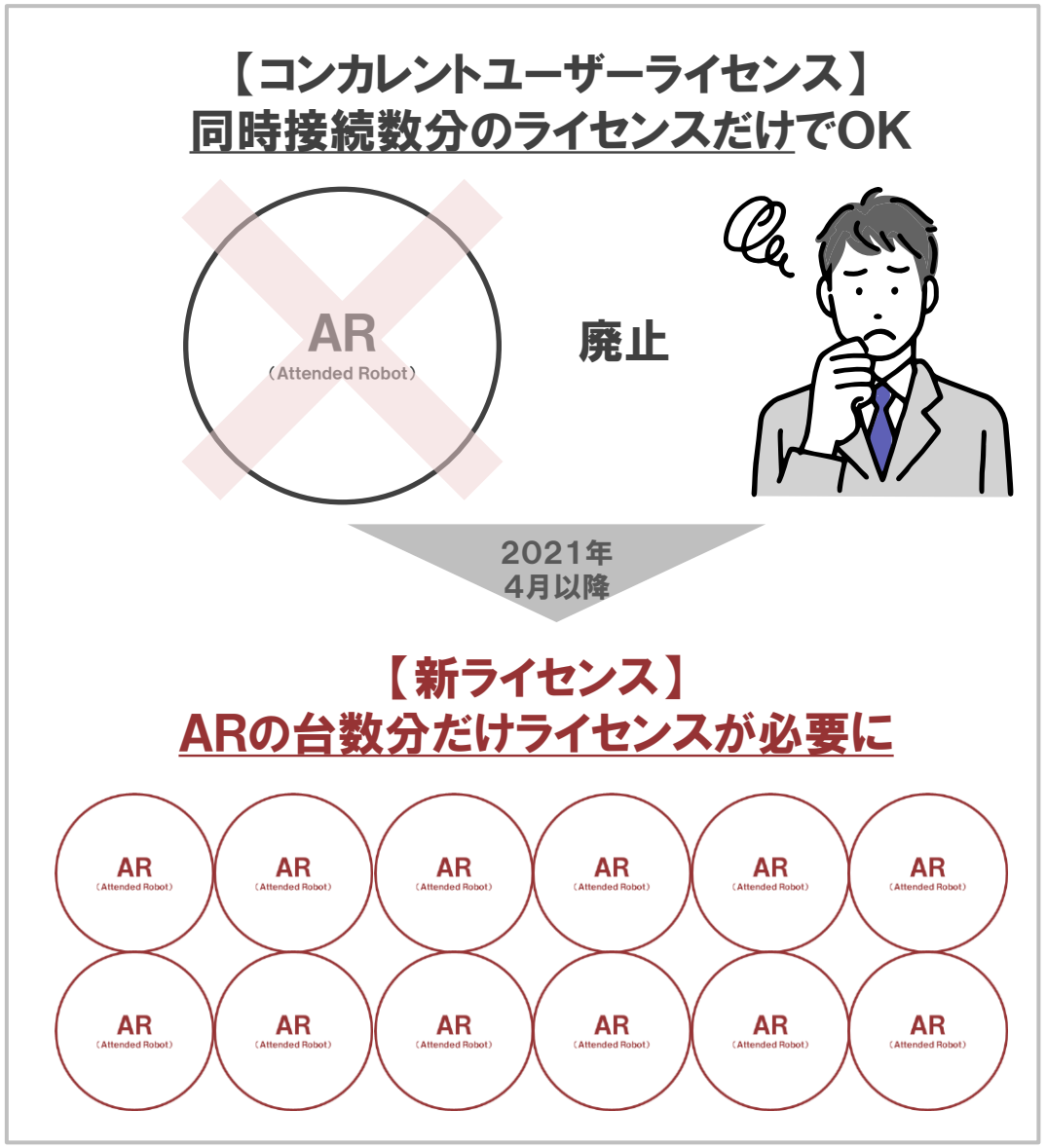
© Sun Planning Systems Co.,Ltd. All rights reserved.

ライセンス費用アップの理由とコスト削減のポイントとは？

【2021年4月ライセンスモデル改定】

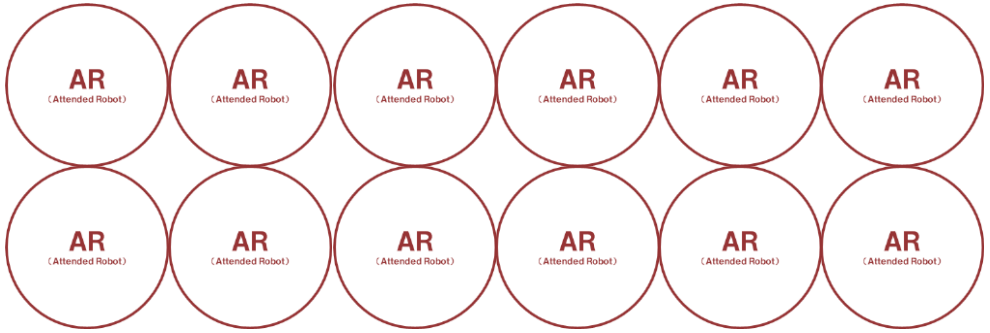
UiPathでは、2021年4月以降新ライセンスモデルによるライセンス購入となり、利用者のパソコンにてRPAを動作させる手動実行型のロボット実行環境であるAttended Robot（以降ARと記述）に対しての「コンカレントユーザー」（同時接続）ライセンスが廃止されたために、多くの利用者にてARをご利用のお客様では、大きな影響が考えられます。

その対策として、従来AR実行環境で動作させていたシナリオを利用ユーザに関係なく動作させることができる、Unattended Robot（以降URと記述）実行環境で動作させることにより、利用ユーザ数から独立してRPA実行環境を構築することが可能となります。

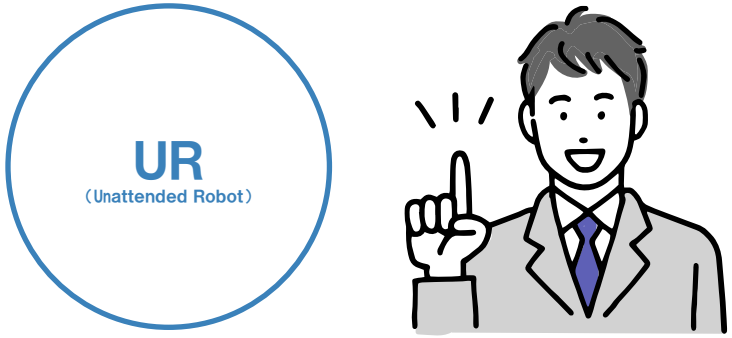


© Sun Planning Systems Co.,Ltd. All rights reserved.

ライセンス費用アップの理由とコスト削減のポイントとは？



利用頻度の低いARが多数
→台数分のライセンス費用が発生



1台＝1ライセンスで24時間x365日稼働できる！

また、ARは利用者毎の専用RPA実行環境となるために、一般的に利用頻度が低いので、24時間×365日RPAを実行させることの可能なURで動作させることにより、RPA実行環境数を集約することが可能となります。

（例）AR利用者毎の利用時間を1日当たり30分程度とすると、URは24時間稼働が可能なので、単純に計算すると約50台分を集約可能となります。但し、一般的にはRPA実行完了までの時間等も考慮する必要があるので単純に1／50では問題が発生する場合があります。

但し、AR実行環境で動作させていたシナリオをURに集約するためには、シナリオの作成方法によってはARで稼働するシナリオをURで動作させるために若干の手直しが必要になることと、利用者からURに対して動作指示を行うための仕組みの導入が必要となります。

© Sun Planning Systems Co.,Ltd. All rights reserved.

ライセンスを効率的に利用する方法とは？
『対処法』を解説

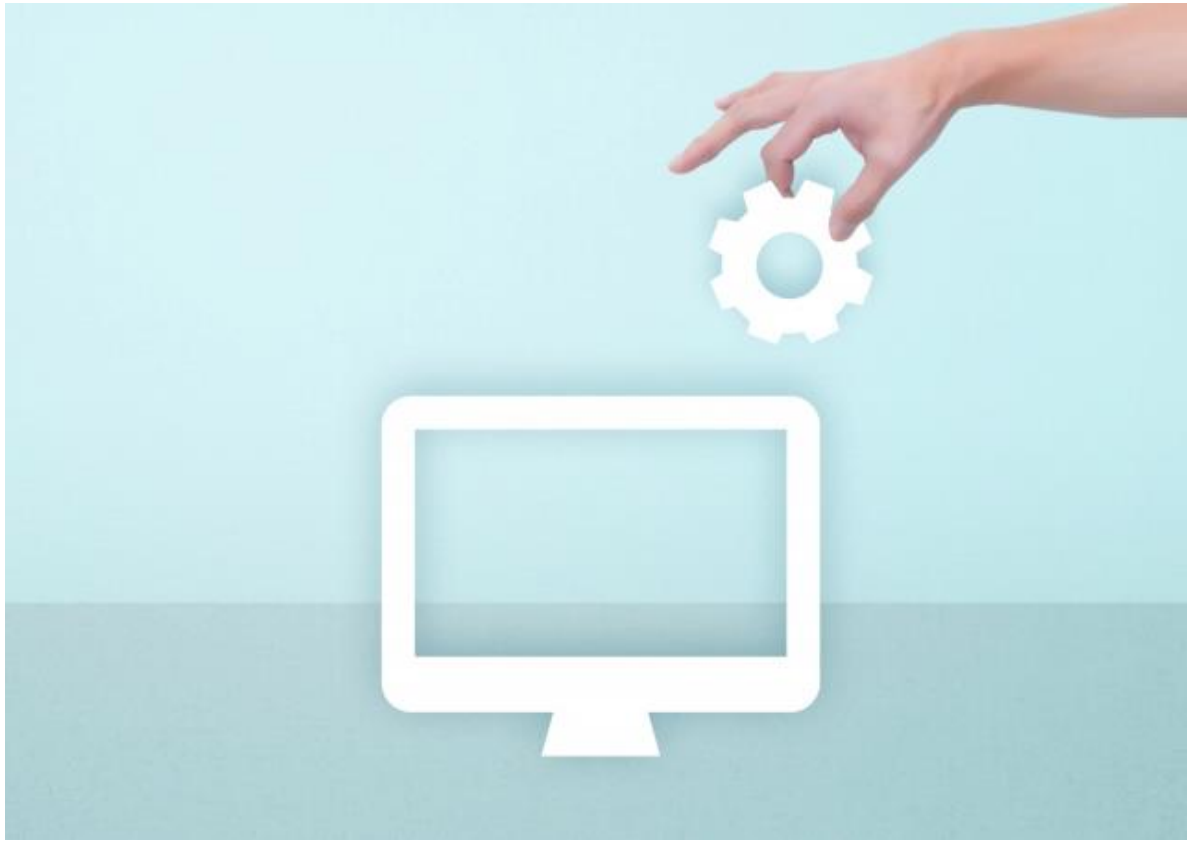
①ARのシナリオをURで動作させるための
シナリオ手直しのポイント

© Sun Planning Systems Co.,Ltd. All rights reserved.

①ARのシナリオをURで動作させるためのシナリオ手直しのポイント

１)OS環境などの変更

一般的にARで動作するシナリオでは、クライアントOSで動作を前提の作成されていることが多いので、UR環境を24時間連続稼働させるためサーバーOSにて構成する場合は、<u>OSに依存する部分のシナリオを変更する必要</u>があります。



© Sun Planning Systems Co.,Ltd. All rights reserved.

①ARのシナリオをURで動作させるためのシナリオ手直しのポイント

２)利用システムリソースの変更

一般的にARで動作するシナリオでは、PCローカルにあるファイルなどローカルシステムリソースを利用する仕組みとなっていることが多いので、そのような場合はUR環境からアクセス可能な共有ドライブなどに変更する必要があります。

また、複数ユーザを対象とするため、パラメータなどを利用することにより、ユーザー環境の違いを吸収する対応が必要となります。

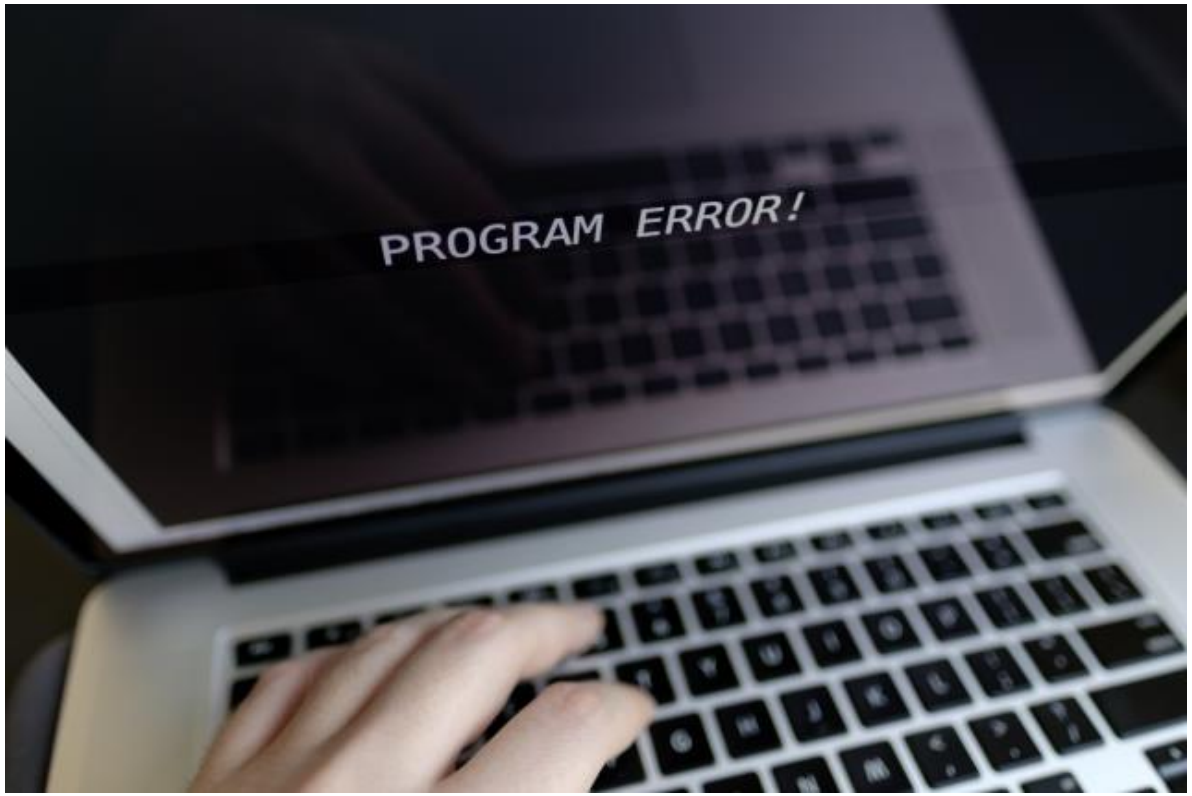
（例）利用ユーザー毎に出力するプリンタを変更するなど

© Sun Planning Systems Co.,Ltd. All rights reserved.

①ARのシナリオをURで動作させるためのシナリオ手直しのポイント

３)エラー時の対応

ARでの実行では、オペレータの目の前で動作するのでエラー発生やその発生個所がすぐにわかりますが、URでの実行では、オペレータの目の前では動作しないので、<u>エラー発生させないための改良、エラー発生の通知やエラー発生個所を特定する仕組み、さらにエラー発生時の再実行の簡易化などに配慮が必要</u>となります。



© Sun Planning Systems Co.,Ltd. All rights reserved.

ライセンスを効率的に利用する方法とは？
『対処法』を解説

②利用者からURに対して
動作指示を行うための仕組みのポイント

© Sun Planning Systems Co.,Ltd. All rights reserved.

②利用者からURに対して動作指示を行うための仕組みのポイント

通常、URにてオペレータオンデマンドでシナリオ実行させるためには、Orchestrator管理コンソールからジョブ実行を行うことにより可能となります。

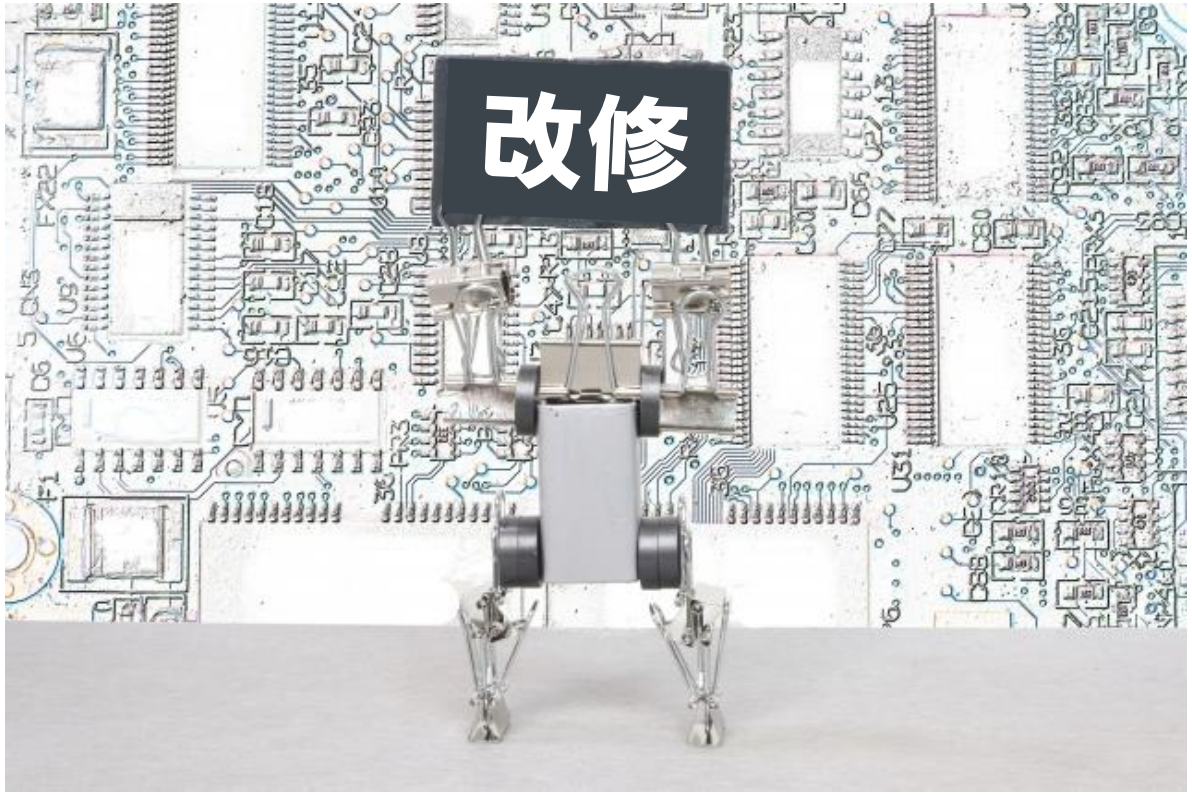
しかし、利用者にOrchestrator管理コンソール操作を行わせるには、それなりの知識が必要となるため、一般的に運用が難しく、<u>利用者からURに対して動作指示を簡単に行うための仕組みの構築が必要</u>となります。

© Sun Planning Systems Co.,Ltd. All rights reserved.

サン・プラニング・システムズなら
課題解決のご支援が可能です

© Sun Planning Systems Co.,Ltd. All rights reserved.

1. AR実行環境用のシナリオをURで動作させるためのシナリオ改修



当社では、既に複数社にて導入済みのサービスメニューとして、AR実行環境で動作させていた作成済みシナリオをお客様の環境にて、前出の

AR実行環境で動作させていたシナリオを
URで動作させるためのシナリオ手直しのポイント

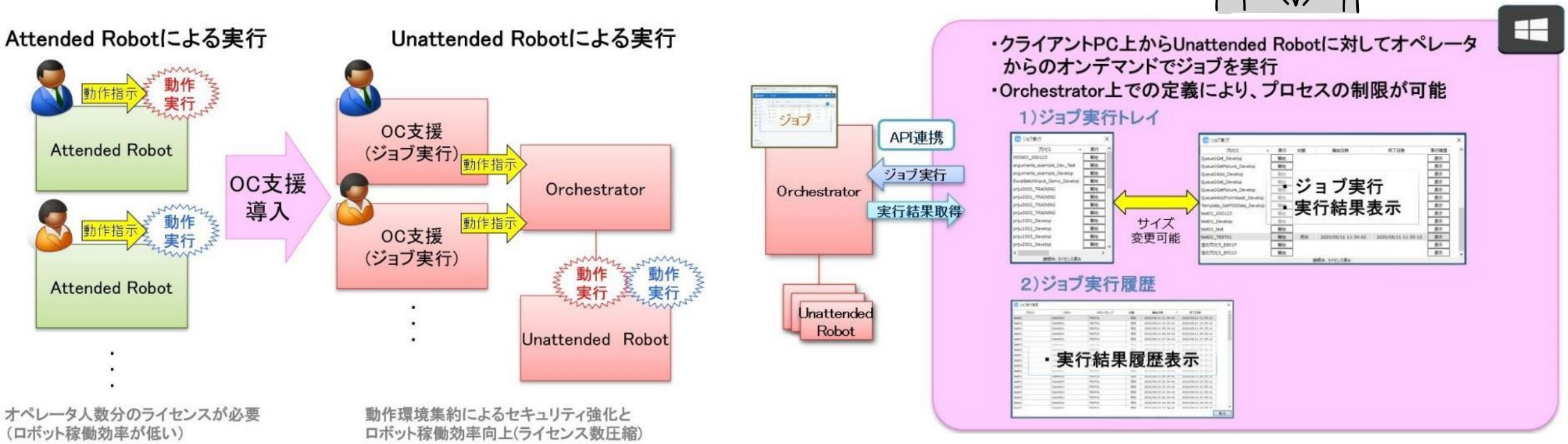
で説明した内容を基に、URで動作させるためのシナリオ改修サービスをご提供しております。

© Sun Planning Systems Co.,Ltd. All rights reserved.

サン・プラニング・システムズのソリューション

2. 利用者からURに対して動作指示を行うための仕組み

当社では、Orchestrator運用支援ソリューションとして、利用者からURに対して動作指示を行うツール(ジョブ実行(UI版))をご提供しております。

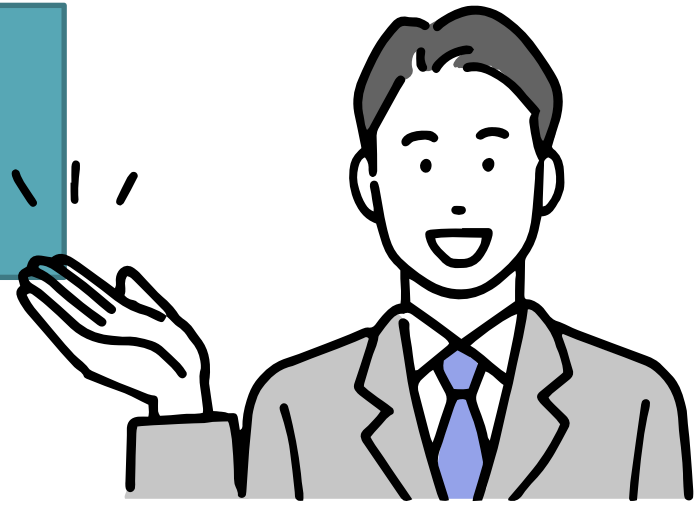


Orchestrator運用支援(ジョブ実行(UI版))動作イメージ

© Sun Planning Systems Co.,Ltd. All rights reserved.

もっと詳しく知りたい方／お困りの方は
どうぞお気軽にご相談ください

無料の相談フォームはこちらから



株式会社サン・プラニング・システムズ
デジタル・トランスフォーメーション部
RPAユニット

© Sun Planning Systems Co.,Ltd. All rights reserved.